

留学体験記

スペイン語学留学

海外一人暮らし

清岡さくら(98回)



語学学校のクラスメイトと

私は、大学2年修了時の春季休業中である2025年3月1日から29日までの約一ヶ月間、スペインのバルセロナに留学に行ってきました。この一ヶ月間の活動内容やその感想、留学したことの意味等をここに報告させていただきます。

【現地での活動内容】

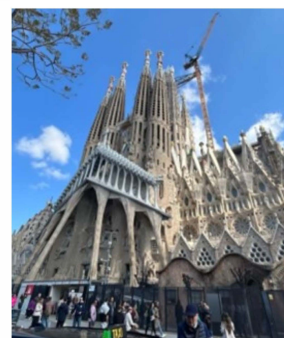
平日の午前中は、語学学校enteloxのバルセロナ校でスペイン語を学びました。学校では各国からの留学生と一緒に二〇分の授業を毎日2講ずつ受けました。私はB1(中級)クラスに振り分けられ、前半は主に会話、後半は主に文法を、すべてスペイン語で勉強しました。クラスメイトには優秀な人が多く、特に授業が始まって最初の週は彼らの語学力に圧倒され落ち込みましたが、その悔しさをばねに放課後の自習に力を入れた結果、より語学力を伸ばすことができましたように感じます。また、授業では主な授業内容の他にスペイン語で雑談をすることが頻繁にあり、それを通して海外の学生が日本の

学生以上に自国や他国の歴史や政治に興味を持つことに気付かされ、自分の無知を恥ずく感じました。しかし、そのような危機感を覚えることができたため、帰国後は以前より国内外のニュースを気にかけるようになりました。



ホームステイ先での夕食

スペイン人は日本人と異なり三食の中で最も昼食を重視しており、パエリアなど手の込んだ料理を家族や同僚、友人と談笑しながら時間をかけてランチタイムを楽しむのが一般的であるため、私たちもそれに倣いました。また、カフェ等で簡単に昼食を済ませ、



サグラダファミリア(上)・カサミラ(下)



授業の予復習やスペイン語単語の勉強に時間を割くこともしばしばありました。習得したばかりの文法事項や単語を翌日の語学学校で披露して補足説明を受けるということを繰り返し、効率よく学んでいたように思います。

【週末の過ごし方】

週末は遠方まで出かけることが多かったです。第一週末にはロンドンに行き、現在ロンドン留学中の友人に会いました。第三週末はスペインの首都マドリードに行きました。バルセロナからは2042mと呼ばれる新幹線のような乗り物に乗れば2時間半ほどでマドリードの中心部に着くことができます。バルセロナには無いもので、印象に残りました。日本の田舎という点、何も無いといっても山、田、川、民家など大抵は何かがあるものですが、スペインの田舎には野原が延々と木が生えている程度で、野原が延々と続いていくような違和感があり、衝撃を受けました。

土佐校で6年間お世話になった島内麻千子先生が友人方を紹介してくださったおかげで、マドリードでは多くのスペイン人と知り合うことができました。充実した週末になりました。マドリードでは2日間にわたって島内先生のご友人のお家に泊めていただき、土曜日には彼女の甥(高校生)やそのご友人の方にマドリード市内の案内をしていただきました。高校生たちとの会話には主に英語を用いたのですが、tooをシユーと発音したり、Oroをカルと発音したり、単語の頭にくるRを巻舌で発音するといったスペイン人特有の訛りが見られ、大変興味深かったです。日本語とスペイン語は5つの母音や抑揚など発音の観点からは極めて似ていると言えますが、英語を話す際の訛りにはそれぞれのくせがあるようでした。

【週末の過ごし方】
スペイン留学をしたことで、海外で一人暮らしをするという貴重な体験も出来ました。言語も生活習慣も何もない自由な東京での一人暮らしとは異なり、苦労することも少なくありませんでした。たとえば通学にはバスを用いていたの

ですが、日本と違って発着時刻が時刻表通りにいかないことが多く、時刻表より早く出発することも頻繁にあったため、乗り遅れて授業に遅刻してしまいうことが何度ありました。しかし、スペイン人には時間にルーズな人が多いことが不幸中の幸いでした。授業開始時刻から数分遅れて学校に到着し大急ぎで教室に飛びこんでも、まだ先生すら来ていなかったことがあり、印象的でした。

また、ローカルなスーパーマーケットでボディースープと買って購入し一週間半ほど用いていたものが、実は保温クリームだったということもありました。ボディースープを意味するスペイン語"crema de"は、二度と忘れることはありません。初めのうちはそのように失敗も少なくありませんでしたが、帰るころには語学力だけでなく現地の生活に完全に慣れるようになっていました。この経験は、日本以外でも一人で暮らしていけるのだという自信や将来の可能性に繋がりました。

【最後に】

私にとって海外留学は中学生のときから掲げ続けてきた夢の一つでしたが、コロナウイルスのパンデミックや受験勉強もあって今まで機会に恵まれませんでした。それがようやく現実となった喜びを、いまだに噛み締めています。私にとって38池田基金の意義は大変大きなものでした。私のように留学を考えている卒業生にとって、彼らの背中を押す38池田基金は素晴らしい制度です。改めてこのたびの留学に大きなお力添えをくださった38池田勲夫基金とその関係者の皆様に切に感謝申し上げます。この留学を糧に残りの大学生活もより実りのあるものに、土佐校のさらなる発展に寄与できるよう精進します。

スペインで知り合った人々



学生の皆様へ

詳細は <http://www.tosako-kanto.org/>

あなたも38池田基金を利用して留学経験してみましょ
夢や目標のある方はぜひ応募してみてください

